上里町議会だより　2018年12月1日発行

議会映像配信中！

かみさと 議会

平成29年度決算を認定
決算審査報告　主な課題と論点
9月定例会一般質問に8人
議会閉会中の委員会活動報告

四季折々の青空の下で。

81

長幡グラウンドゴルフクラブ
（宮グラウンド）

第5回 9月定例会

9月4日～25日

9月定例会は、9月4日に開会され、議員8名の一般質問と平成29年度決算認定を中心とする町長提出議案20件他を審議して25日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

■平成29年度決算を認定

◆◆条　例◆◆

議案第49号　上里町税条例等の一部を改正する条例について

要旨　地方税法等の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、条例等の一部を改正するものです。

原案可決

議案第50号　上里町こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

要旨　こども医療費の対象年齢を現行の満15歳から満18歳へと引き上げることで、子育て世代の経済的負担の軽減及びこどもの健康と福祉の増進を図ることを目的として、条例を改正するものです。

原案可決

議案第51号　上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

要旨　平成29年の地方からの提案等に関する対応方針を踏まえ、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

原案可決

議案第52号　上里町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

要旨　埼玉県重度心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱の改正、医療費助成金の支給対象者に係る所得制限の導入及び上里町こども医療費支給に関する条例の改正を踏まえ、支給対象年齢の拡大のため、条例の一部を改正するものです。

原案可決

◆◆契　約◆◆

議案第57号　工事請負契約の締結について

要旨　上里町防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事を次のとおり契約するものです。

1契約の目的
上里町防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事

2契約金額
2億7362万2680円

3契約の相手
株式会社日立国際電気　北関東営業所

4契約の方法
一般競争入札

原案可決

補正予算

議案第53号
平成30年度上里町一般会計補正予算（第2号）について

概要 歳入歳出それぞれ7億9867万5千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ96億7335万4千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

原案可決

平成30年度 補正予算（第2号）

主な事業

- 行政改革推進事業　1125万4千円
- 減債基金積立金　1億円
- 教育施設整備基金積立金　2億4千万円
- 中央・長幡保育園改築事業　1043万4千円
- 農業振興事業　3億5834万円

この他に、平成30年度国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

人事

議案第58号
固定資産評価員の選任について

要旨 固定資産評価員である高野正道氏が平成30年9月24日をもって辞職したことに伴い、後任として江原洋一氏を選任するものです。

同意

議案第59号
公平委員会委員の選任について

要旨 公平委員会委員である赤沼輝生氏が平成30年9月30日をもって任期満了となるため、後任として坂本義勝氏を選任するものです。

同意

議案第60号
教育委員会委員の任命について

要旨 教育委員会委員である清昌道氏が平成30年9月30日をもって任期満了となるため、後任として相川崇樹氏を任命するものです。

同意

諮問第1号
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

要旨 人権擁護委員である笠原洋子氏が平成30年12月31日をもって任期満了となるため、再任の推薦に意見を求めるものです。

同意

議員提出議案

議案第1号
議会活性化特別委員会設置について

要旨 特別委員会を次のとおり設置するものです。

1 名称　議会活性化特別委員会
2 付議事件　議会基本条例の制定や議会のペーパーレス化など、議会活性化に向けた諸課題についての調査・研究
3 委員の定数　6名（委員会構成は左表をご覧ください）
4 設置期間　議決の日から調査・研究が終了するまで

原案可決

上里町議会 委員会構成

議会活性化特別委員会

委員長	副委員長	委員	委員
納谷　克俊	植原　育雄	沓澤　幸子	齊藤　崇
		仲井　静子	髙橋　勝利

請願

請願第1号
憲法九条を変えることに反対する意見書の提出を求める請願

継続審査

請願第2号
主要農作物種子法の復活等をもとめる請願

継続審査

意見書

意見書第2号
児玉郡市における埼玉県議会議員選挙区を見直し児玉郡及び本庄市が同一選挙区となるよう求める意見書（案）について

原案可決

意見書第3号
ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書（案）について

原案可決

平成29年度決算に対する各常任委員会の意見と要望（抜粋）

決算審査を９月11日から18日までの５日間にわたって行い、担当する課長及び担当職員の出席を求め、歳入歳出決算書及び付属資料、並びに決算説明書をもとに、各課の決算内容の説明を受けました。

主な課題と論点！

総務経済常任委員会

町ホームページのアクセス数は？

問　町ホームページは業者委託から職員が編集、更新することになったが、アクセス数の推移はどうなっているか。

答　月平均 4000 ～ 5000 件だったものが、平成 29 年度の月平均は 13000 件近くまで上昇している。

こむぎっち号の無料乗車券交付件数は？

問　運転免許証自主返納者支援事業について、「こむぎっち号」の無料乗車券を交付した件数と免許返納者の人数は。

答　無料乗車券の交付は平成 29 年度（９月１日から）19 件で、免許返納者は平成 29 年 76 件であった。

総務経済常任委員会による現地視察

今後の接続率の増加について

問　今後、下水道の接続率増加は見込めるか。

答　接続率の急激な増加は見込めない。浄化槽を現状使用している世帯に新たに加入していただくことが難しく、新たな設備投資をしてまで公共下水道に加入する世帯が非常に少ないのが現状である。

自主防災組織について

問　自主防災組織のモデル指定はどの程度進んでいるのか。

答　自衛消防隊は全部で 23 隊ある。総合振興計画でもモデル地区の指定を目標に掲げており、実現に向けて地区防災講習会を開催している。

上里町農村公園について

問　上里町農村公園が平成 29 年 11 月 19 日に供用開始となったが、農協（直売所）の経営状況は。

答　開業してからのレジ通過数は、平日で前年対比 87%、休日で 123%、全体では 101%となっている。初年度については、減価償却とオープニングイベントでの経費があり、赤字になる見込みであるが、経営については概ね順調である。

文教厚生常任委員会

乳児おむつ購入費助成金について

問　乳児おむつ購入費助成金の申請は、今もレシートを提出しているのか。

答　町内事業所で購入したものが対象となるので、レシートで確認している。

放課後子供教室について

問　上里町放課後子供教室のボランティアについて、以前は確保が難しいという事だったが、現在はどうか。

答　現在、52 名の登録をいただいている。ボランティアの確保の為、子供との遊び方を学ぶ講座等を実施し、ボランティア確保に努めてきた。52 名中 41 名が、講座の出身者となっている。

町の指定文化財の指定状況は？

問　町の新しい指定文化財の指定状況はどうか。

答　昨年 11 月に上里町文化財保護審議委員と「石神社所蔵の屋台」、「大字嘉美の大欅」、「吉祥院の大日如来坐像」について指定文化財に向けての調査を実施した。現在これらの文化財の製作年代や歴史などの調査を実施しており、この調査の結果をふまえ、年内に文化財保護審議委員会に新指定文化財に向けて審議をお願いしようと考えている。

文教厚生常任委員会 決算審査風景

健康促進に関する町の施策は？

問　団塊世代が 75 歳になると医療費や介護費が急増してくると予想される。町の施策があれば教えてほしい。

答　今年度は、特定健診・がん検診の検診費用を無料化にした。健康づくりの取組として、健康長寿埼玉モデル事業で「歩く」ことをメインとした事業を実施している。生活習慣病予防のため、医師と連携し、血糖値の高い方への指導も行っている。

認知症サポーターについて

問　認知症サポーターは累計何人になったか。

答　平成 29 年度末 1623 人、平成 30 年７月末で 1828 人となっている。

平成29年度 決算審査報告 ～すべて認定すべきものと決定～

9月25日、各常任委員会における決算審査について、各常任委員長から報告がありましたので、その一部を紹介します。

なお、平成29年度の決算額等については、「広報かみさと10月号」に詳しく紹介してありますので、省略します。

総務経済常任委員会
委員長 猪岡　壽

公共交通ネットワーク推進事業は、コミュニティバス「こむぎっち号」について、上里町地域公共交通活性化協議会を3度開催したとのことでした。「こむぎっち号」については、町民の利便性が向上するための更なる改善をお願いしたい。

平成29年度における一般会計の町税収入は39億5140万5638円で、前年度に比べ7022万3548円の増収となりました。収納については、積極的な滞納整理を進めており、滞納繰越分の徴収率が1.5％上昇して28.5％となり、収入未済額が大幅に圧縮されています。現年・滞納繰越を合わせた町税全体の徴収率も、昨年度を0.5％上回る95.8％となり、順調に推移しています。

最近、日本各地域で地震や豪雨が発生しており、上里町もいつ災害による被害が発生するか分かりません。そこで、年1回行われている防災フェスティバルは雨天中止ではなく、順延にして町民の防災意識を高めることをお願いしたい。また、区長さんを対象にした防災講座や職員対象の研修会、地区公民館や行政区での防災講習会を実施していますが、出来るだけ早く自主防災組織のモデル地区を定め、避難訓練などを通じて住民の危機管理意識の高揚を図っていただきたい。

公園管理事業として、神保原駅南街区公園は平成29年10月21日に開園式典を実施しました。いつまでも町民が親しめる憩いの場となるよう適切な管理をお願いしたい。また、29年度は3号公園の工事に着手しました。早期開園に努めるとともに既存公園の遊具などのリニューアルも計画的に実施していただきたい。

水道事業は平成27年度より業務委託により未収金対策を実施し、今年度は昨年度と比較し過年度滞納額が約862万円の減、現年度滞納額は約158万円の減になりました。今後も引き続き、水道料金の未納者解消について努力をお願いしたい。財政状況については、平成30年度が償還のピークで3億円余りの返済になり、ここ数年資金繰りが厳しくなるとのことです。今後も安心安全な水の供給に努めるため、経費の削減、経営改善に取り組まれるようお願いしたい。

文教厚生常任委員会
委員長 髙橋　仁

平成28年度に開始した、「上里町こむぎっち子育て10のサポート事業」が2年目となりました。「乳児おむつ購入費助成事業」など好評な事業は、引き続き利用者の視点に立ち、効果的な実施に努めていただきたい。

児童・生徒の虫歯予防対策の一環として「フッ化物洗口」を全小中学生を対象に実施しました。希望者を対象に行った結果、実施率は87.6％でした。虫歯予防の観点から、保護者のご理解をいただきながら、フッ化物洗口を引き続き実施していただきたい。

図書館利用者の利便性向上のため「ブックポスト」を町内の商業施設に設置し、図書館で借りた書籍等を買い物の際に返却できるサービスを開始し、利用者も徐々に増えております。今後も、民間のノウハウを生かした新たな試みやサービスを、積極的に導入していただきたい。

母子衛生事業では、少子化対策として、妊婦歯科健診事業、不妊治療費・不妊検査費の助成事業を実施していました。めでたく、妊娠された方もいたようでしたので、今後も、不育症など、さらに充実できるよう、事業の推進をお願いしたい。

国民健康保険特別会計は、平成29年度が、町の単独保険者となって財政運営を行う最後の年度となっています。当該年度においても、実質収支額は黒字となっていますが、単年度の収支では赤字の状況でありました。被保険者の減少により、保険給付費が減少傾向にあり、決算規模は、昨年度より、歳入・歳出ともに小さくなっているようです。平成30年度からは、国保の広域化となり、納付金制度に移行いたしましたが、現行の保険税との兼ね合いなど、県内の状況を注視して、十分な検討を重ね、慎重に進めていくことをお願いしたい。

医療費については年々増加傾向であり、医療費適正化のため、医療費通知やジェネリック医薬品の普及促進を行っているようでありますが、高齢化を踏まえ、更なる取り組みについて期待したい。

民生委員・児童委員については、高齢化や単身世帯の増加、貧困など地域の課題は多く、委員への負担が過重になりかねないことから、活動しやすい環境づくり、支援体制づくりをお願いしたい。

映像配信

一般質問

猪岡　壽

問 30年度予算について町長は

答 責任を持って効率的に執行する

質問1 山下町長と30年度予算について

問 6月定例議会の中で、山下町長が「30年度予算は私が作った予算ではありません。」と発言した真意について伺いたい。

答 30年度予算については、関根前町長が在任中に組み上げたもので、私は予算編成に携わっていないことから申し上げたことであるが、議会の議決を賜った予算であるので、責任を持って効率的に執行していく。

質問2 山下町長の選挙公約について

問 既に手掛けている道路整備については早期に完成させていただきたい。これから手掛けるリバーサイドロード、三田中通り線、神保原駅北口アクセス道路などはどのような順序で手掛けるのか。

答 財源及び人員に限りがある中で、現在の事業箇所の進展を踏まえ取り組んでいく。

整備が待たれるリバーサイドロード

問 現在の下水道事業が厳しい経営の中で、七本木地区への事業拡大は如何なものか。

答 七本木地区は人口密集地で、住民の多くのニーズもあるので、下水道整備は必要と考えている。現況の経営状況の改善を図りながら慎重に進めていく。

問 救急治療に特化した総合病院を誘致する件について。

答 県の医療計画で定めるベッド数の問題もあるので、地元医師会等関係機関と連携を図りながら取り組む。

問 町単位の誘致は財政上難しい。本庄児玉広域で公立病院の誘致を検討することが必要では。

答 本庄市・児玉郡3町の首長同士が話合いをする機会があるので、各首長の考え方を方向づけていきたい。

問 神保原駅舎を複合化し、橋上駅舎にするという計画についてその費用は。

答 駅に付加価値を付け利便性を向上させれば、定住人口の増加に繋がると考えたが、莫大な費用がかかることが予測されるので、JRと連携しながら進めていく。

問 給食費の無償化をするには毎年1億円以上の財源が必要となるが、どのようなスケジュールで無償化するのか。

答 来年度予算に学校給食費無償化をどの程度盛り込むかについては、本庄市等と調整しながら慎重に検討していく。

問 山下町長は選挙期間中、長幡保育園の存続を積極的に取り組む政策を掲げたが、今後どのように取り組むのか。

答 長幡保育園がなくなると長幡地区の保育園利用保護者の方々が不便になるため、統廃合のあり方を検証する必要があると考えた。検証の結果、町内民間保育所の整備状況や将来の児童数の推移などから統合はやむを得ないと判断した。

問 長幡地区の住民は存続に期待を持っていたと思うが。

答 今後、長幡地区の皆さんには、保育園跡地利用や企業誘致など、多方面にわたりご相談したいと思っている。

質問3 中学生の学力向上について

問 深谷市では今年度から、英検、数検の検定費用を全額補助する事業を予算化したが、教育長の考えは。

答 **教育長**　英語や数学の学力向上は不可欠であり、検定料の内容や実施方法など先進地域の情報を参考にして、前向きに検討する。

※この他に、こむぎっちバス、かみさと荘の風呂の復活について質問しました。

映像配信

一般質問

飯塚　賢治

問 乳幼児健診アンケートに白色瞳孔を追加できないか

答 来年度の導入に向けて前向きに検討していきたい

質問1 地域包括ケアシステムについて

問 PDCAの充実により、継続的な評価、点検を強化することや、センターの取り組みに関する情報公表など町民の皆様にわかりやすく、且つ機能強化を図っていく事について。

答 センターの増設やブランチ設置を検討しており、相談機能の充実のため来年度の採用に向け、保健師1名の増員を計画している。町民への情報公表は、ホームページ、広報に掲載する。当町の高齢者を取り巻く現状を十分に把握し、センターの機能強化を進めていく。

問 今後、増えていくニーズに応えていくために町が中心になって企画立案して、ボランティアの発掘や養成、組織化というものが必要ではないか。

答 平成27年度から生活支援サポーター養成講座を開催し、現在78名が登録されている。活動の場を紹介しておりますが、活動は18名と少ないのが実情です。今年度から小学校区単位で住民の支え合い活動、生活支援を実施していきたい。そして、ちょっとした困り事が地域で解決できるような地域づくりを町民の皆様と一緒に進めていきたい。

質問2 中小企業の設備投資を促す制度について

問 ものづくりサービス補助金とIT導入補助金の追加の申請受付があるが、対象企業に対しどのように情報提供していくのか。

答 この制度をより多くの事業者に活用してもらうため、商工会と協力し中小企業及び個人事業者に対しダイレクトメールを送付するとともに、商工会職員と定期的に企業訪問を行い、制度の周知に努める。

質問3 乳幼児健診における小児がんの早期発見について

問 網膜芽細胞腫は白色瞳孔や斜視の症状があらわれるので、乳幼児健診の医師検診アンケートの目の項目に白色瞳孔を追加できないか。

答 乳幼児健診のアンケートに白色瞳孔に関する質問を追加することは、保護者が丁寧にお子さんを観察し、疾病の早期発見の向上につながることも期待されるので、来年度からの導入に向けて前向きに検討していきたい。

質問4 不育症の周知や患者支援の推進について

問 不育症を知り適正な検査や治療をすれば、多くの命を守ることができる。不育症に悩む方に対して正確な情報を提供して、心理的な相談を行う、患者支援の取り組みが必要と考えるが。

答 不育症の検査費については、新たに助成を開始したところです。不育症の方の気持ちに寄り添う対応をするとともに、正確な情報を提供し、心理的な負担が軽減できるよう取り組んでまいりたい。

質問5 新しい婚活支援事業について

問 過去1900組以上の婚姻実績を有して内閣府の表彰を受けたいばらき出会いサポートセンターの取り組みを学んでJUNOALLを設立した。このセンターが県北地域にできることを願うが。

答 県の事業としてSAITAMA出会いサポートセンターが設立されたところで、上里町もこの事業と連携していきたい。県内3ケ所あり、窓口の一つに出会いサポートセンター本庄がはにぽんプラザ内に設置された。上里町は本センターに加入し、県から支援を受けながら婚活事業を進めていきたい。

映像配信

一般質問

仲井　静子

問　女性の貧困の要因は非正規雇用

答　企業誘致の中で雇用と共に給与水準を上げていきたい

質問1　貧困対策について

問　女性が貧困に陥る要因は多種多様ですが、年々増加傾向にある母子家庭は、特に貧困に陥り易い。その大きな要因として、母親が働いている母子家庭の47％が非正規雇用で年収も平均181万円。非正規社員は賃金が低く、雇用が不安定。母親の大半がこの非正規雇用です。

答　全国の母子世帯の平均年間所得額は250万円前後。全世帯の平均年間所得額550万円前後とは大きな差があるのが現状です。このことから、多くの母子世帯は経済的に厳しい状況に置かれているものと推測するところです。私自身も母子家庭を含めた女性の雇用を、非正規も含めて改善したいと思っている。

問　生活が困窮している非正規雇用の女性を、町はどのように、相談から自立につなげるか。この取り組みが非常に重要と考える。

答　非正規雇用の女性の自立支援は、埼玉県Ｗｉｔｈ　Ｙｏｕさいたま内の女性キャリアセンター就労支援を案内している。女性の自立が実現する事は、貧困の連鎖解消に結びつく為、今後は、就労支援情報など自立を考える機会を定期的に提供する。

問　県南・県北の所得格差は。

答　平成30年5月公表の一人当たりの市町村所得は、さいたま地域が375万4千円に対し、上里町は241万1千円と格差がある。格差の是正対策は今後必要と考えている。

問　町の母子家庭の実態は。

答　平成30年6月1日現在、母子家庭の児童・生徒数の割合は11.3％。平成27年度国勢調査では、埼玉県母子家庭の児童・生徒数の割合は4.8％であることから上里町は、高い状況。

問　町として、子どもの貧困の連鎖を食い止める取組みと支援をどう考えているか。

答　現在、町の貧困状況を把握し、貧困の連鎖を断ち切る為に、子どもの貧困に関する実態調査を実施している。（教育関連・生活関連）調査実施後は、集計分析を行い、子どもたちに必要な支援と、実現の可能性を整理したい。国の「地域子どもの未来応援交付金」の活用も視野に入れ、ひとり親世帯や生活困窮世帯をも対象とする総合的支援策を展開できればと考えている。

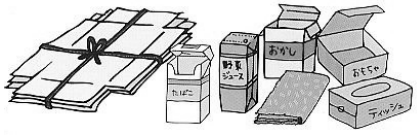
質問2　ごみの減量化対策とその取り組みについて

問　上里町のリサイクル率ランキングは、埼玉県内63市町村では、50位の20％と依然低く、なかなか目に見えた改善が図られていない。各自治体が真剣に取り組めば、まだまだ減少させる余地があるのでは。広報等でお知らせしているだけでは周知不十分。人の集まる場所へ職員が出向き、ゴミの減量化（分別収集）の説明協力依頼をお願いしては。

答　確かに広報だけでは周知は不十分。町民がゴミの出し方・減量化をどうやって取り組んでいるのか、見えないところもある。今後子どもから大人まで「ごみゼロ」に取り組むので、住民との対話の中で周知させる改善等もやっていきたい。

問　公共施設に分別ＢＯＸを。

答　本庄市の例も参考にし、環境美化に取り組む所存です。担当課も含めて、検討させて頂きます。



ごみの減量化対策を（宇部市 HP より）

映像配信

一般質問

髙橋　勝利

問 高齢者がいきいき生活出来る環境整備を

答 賀美小学校区域をモデル地区として推進

質問1 高齢者対策について

問 最近、高齢者の事故が多発しています。大きな原因は、ブレーキとアクセルを踏み間違える事故であり、町でも免許証返納にこだわらず80歳以上の高齢者に対し、こむぎっちバスの無料乗車券、電話予約などを導入し、町長が唱えてきた「お年寄りを大事にする事」を実現してほしい。

答 運転免許証の返納があった場合町では、29年から運転免許証自主返納者支援事業を実施しています。また、自主返納した方を対象に1年間有効の、コミュニティバス無料乗車券の交付を実施しています。

問 毎日いきいきした生活が出来る環境整備は。

答 介護認定を受けている方には、移動支援や買い物支援などの福祉有償運送や介護保険サービスを行っている所でございます。料金無償化についてバスを利用しない方へのアンケートでは、料金面より、利便性の確保が優先されています。

質問2 下水道及び雨水対策について

問 三田中通りなど、町には側溝が整備されていない所が多くある。整備されていない所などどこまで把握されているのか。

答 議員指摘のとおり町に側溝が整備されていない箇所があります。側溝の整備は、放流先がなくては効果がなく、放流先がない場所については未整備となっています。

問 町長は6月以降三田中通りの対策についてどのような検証を行い、どのような指示を行ってきたのか。

答 ゲリラ豪雨時に現場確認を行い、担当職員にも現場確認をさせました。周辺の調節池は、計画された区域に降った雨水のみの受け皿となっています。

問 日産化学駐車場隣の調節池は利用できないのか。

答 駅南区画整理事業内の雨水を抑制する為のものであり、利用できません。

質問3 烏・神流川総合運動公園について

問 3月定例議会に於いて前町長は、総合運動公園利用団体について野球、ソフトボール、グラウンドゴルフと答弁したが、ターゲットバードゴルフについての認識は。

答 専用コース以外の場所でも手軽にできるスポーツであると認識しております。

問 ターゲットバードゴルフ場について、神川町、美里町、本庄市は町の施設として管理しているが、町の管理でないのは上里町だけです。町長は、総合運動公園の整備を掲げていましたが、町としてターゲットバードゴルフ場を作る考えがあるのか。

答 活動場所の確保と、烏・神流川総合運動公園の位置づけの中で柔軟に対応していきたいと考えています。

問 遊具が設置されている場所は、草を刈りこんでもすぐに草が伸びてしまいこの付近では家族連れや子供たちが遊べない。一度全部を更地にして野球グラウンドの芝を植えれば一定の時期が来れば快適な場所になり幼稚園などのピクニックなどに有効に使えるのではないか。

答 議員指摘の遊具広場への芝の張替えについては今後、試験的に施工するなど芝の養生方法も含めて検討し、快適な公園となるよう改善してまいります。

遊具周辺の芝について検討を

映像配信

一般質問

沓澤　幸子

問 「駅北の町づくり」について合意形成を

答 任期中に全身全霊でやっていきたい

質問1 駅北の町づくりについて

問 神保原駅前の旧トライアル跡地の場外馬券売り場設置計画について、町長の目指す町づくりとしてどうか。

答 設置計画の詳細は、正式に把握していませんが、地元住民との合意形成の有無や周辺地域及び町に対する影響を分析し検討したい。通学路になっているので、果たしてどうかという感じはもった。

問 神保原駅から国道17号までの道路整備について、神保原地域では要望署名が取り組まれました。県に要望した結果と町長の決意は。

答 8月23日に県に要望を行なった。上里の顔でありながらいまだ未整備との認識をいただいている。県が今後整備すべきと位置づけるよう町全体で検討したい。

問 旧トライアル跡地は、駅北の活性化に重要な場所であり、道路整備と合わせ、「駅北の町づくり」について、住民の合意形成に向けた協議会を作っては。

答 4年の任期の中で、全身全霊で協議会をつくってやっていきたい。

整備が待たれる神保原停車場線

質問2 教育問題について

問 2020年度から、小学校の英語が教科になります。現在も4～6年生は、週3日は6コマ授業です。放課後の時間が減ることは、児童の健全な発達を保障する点からも問題です。教員も過重労働の上に英語研修が増加します。どう考えますか。

答 **教育長**　昨年度、教育課程検討委員会を立ち上げ、1コマ授業を行う6時間目を設定することにしました。放課後の時間が奪われるのはご指摘の通りですが、異文化コミュニケーションは重要です。

※1コマは45分授業

問 体育館は、文化発表会や日々の部活動、災害時の避難所でもありエアコン設置が必要では。

答 設置にかかる費用、ランニングコストを具体的に試算して検討したい。

教育長　熱中症予防策としては有効と考えるが、財政負担も大きいので慎重に判断しなければと考える。小・中学校の校舎の老朽化対策を優先させたい。

問 「ひざつき無言清掃」の「無言」に違和感があります。自主性を尊重し、場をわきまえた行動が出来るよう「無言」は強調しないように。

答 **教育長**　清掃活動は重要な教育活動です。集中して清掃していく中で、自然に無言と言う状態になることが大切であり、人間形成に役立つ活動と考えます。

問 上里町の奨学金制度に所得制限が導入されて7年間、不承認は17人で、申込件数も減少しています。学ぶ意欲のある学生が借りやすい制度に。

答 継続して制度の改善を検討したい。

教育長　健全な奨学金制度の運営を確保しつつ、近隣市町村の動向も踏まえ、制度の改善点を検討したい。

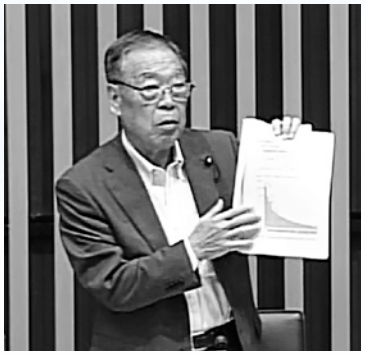
問 県は「ジュニア・アスポート事業【困窮世帯の小学生向け学習・生活支援教室の開設】」をモデル実施しています。町も、中学3年生対象の「学力アップ教室」に続き、小学3年生からのサポートに取り組む考えは。

答 **教育長**　小学生の学習支援は有意義であると考えるが、専門知識や教育技術を備えた人材確保が課題。しかし、多角的・多面的に検討したい。

※この他に、貧困調査の進捗状況も質問しました。

映像配信

一般質問



齊藤　崇

問 町も観光協会を設立しては

答 検討していきたい

質問1 公民館長の選任、選任方法について

問 現在、公民館長の選任については役場職員、学校教職員をリタイアした人を採用している事が多く見受けられる。どのような基準で館長を選任しているのか。

答 教育長　地域に精通している人、社会教育に対して知識や経験を有する人、週3日程度勤務が可能な人などで地域から情報を得て選定している。

公民館長の選任方法の再考を

問 今後、公民館長の選定方法を変えていく考えはあるのか。

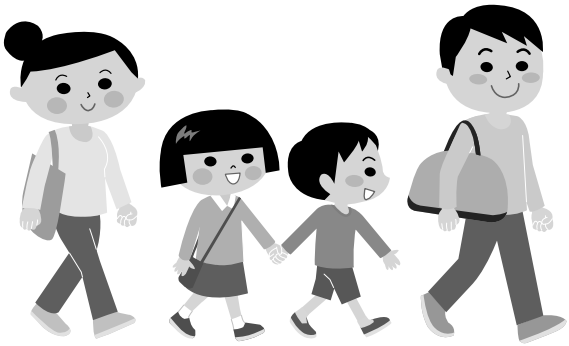
答 教育長　平成32年度より、国の制度が改正され特別職非常勤職員の定義が厳格化され、公民館長選任についてもこの制度が適用されるので検討していく。

質問2 1市3町で観光協会がないのは上里町だけ

問 観光協会を設立することにより来訪者が増え、観光資源の掘り起こし、町の活性化に起因するのでは。

答 観光資源の掘り起こしなどについては町が主体的に考え、事業の継続性、経済性を考慮し、上里町ならではの手法について検討していく。

　また、町ではこれまで観光ビジネスのチャンスがなかったが、スマートインターチェンジが開通したことから、高速道路利用者が気軽に上里町を来訪できる準備が整ったと考え、観光協会設立について検討していく。



質問3 ゴミの分別について

問 昨年10月にペットボトルのラベルを剥がして出すことに制度が変わりました。また、まだまだゴミの分別が徹底されていないのが現状です。特に不燃物と資源ゴミの分別ですが。これらを解消するため、町民の意識が定着するまでゴミ分別推進委員（仮称）を配置しては。

答 ゴミ分別推進委員(仮称)の配置は、環境衛生委員の末期の活動と類似するような点を考えると、慎重に検討する必要がある。ゴミ分別推進委員（仮称）を配置する場合には、委員さんを地域から選出して頂くことになるので、区長さん等の意見を聞きながら、今後の方向性を検討していきたい。

ゴミ分別推進委員（仮称）の配置を

映像配信

一般質問

納谷　克俊

問 上里町土地開発公社の今後のあり方は

答 公社理事会で解散に向けた議論が進むと考えている

質問1 存在意義が薄れつつある土地開発公社の今後のあり方について

問 土地開発公社は「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき、町の全額出資により設立された特別法人として、これまでまちづくりの計画的な推進及び財政負担の抑制を果たすため、町からの公共用地の先行取得依頼に基づき、迅速かつ柔軟に用地取得を行ない、町の事業計画の進捗にあわせて町に売却を行うことにより、計画的なまちづくりに一定の役割を果たしてきました。また、近年では上里サービスエリア周辺地区整備事業における産業団地の造成・分譲により税収増・雇用の創出につながる大きな成果を上げたと認識をしております。

一方、近年の社会情勢の変化、とりわけ地価の下落傾向、普通建設事業の計画等により、土地の先行取得の必要性が少なく、土地開発公社そのものの存在意義が薄れつつあります。

実際に昨年度においては先行取得、公有用地売却、事業用地売却の実績はありません。

しかしながら、現在、土地開発公社では上里サービスエリア周辺地区整備事業用地として1758．66㎡の造成済みの土地を保有しており、その多くが産業団地B区画の残地であり、今後も売却に向けての交渉、用地の管理を行っていく必要があります。

また、産業団地分譲時における土地売買契約の特約に関する規定についても土地開発公社の今後について拘束されるのかと考えます。

以上のような内容も踏まえて、町として土地開発公社を今後、どのようにしていくのかを真剣に考える時期であると思いますが、町長のお考えを伺います。

答 昭和47年制定の公有地の拡大の推進に関する法律に基づいて、上里町においても昭和48年5月に土地開発公社が設立されました。

地価の高騰や土地利用の乱用などにより、公共用地の取得が困難であった高度経済成長期やバブル期においては、全国的に土地開発公社の有益性が発揮され、公共事業の推進に寄与しました。

しかしながら現在においては地価高騰期に取得した用地が公共事業の遅延などにより不良債権化するなど、土地開発公社のあり方が問題視されているという側面もあるようです。

このような背景から、埼玉県による土地開発公社に関するヒアリングが毎年行われており、上里町も早期解散に向け指導を受けているところです。

幸いにして、上里町土地開発公社では不良債権化した土地は無く、現在、公社の所有する土地は上里サービスエリア周辺地区整備事業による産業団地1758㎡ほどとなっています。

この産業団地の売却が終了した場合は土地開発公社の事業が完了となるわけで、土地開発公社の理事会で解散に向けた議論が進められるものと考えています。

その際には上里町にふさわしい土地開発公社のあり方について、十分に議論する必要があります。

映像配信

一般質問

髙橋　茂雄

問　環境問題について

答　快適な住環境の確保に努めてまいりたい

質問1　生け垣について

問　生け垣についてですが、空家や高齢になり、生け垣が伸び放題で道路にはみ出したり、カーブミラーにかぶさったりしていて大変危険なところがあります。今後どのような対策をしていくのか。

答　生け垣が伸びて道路や交通安全施設に影響を及ぼしている場合は、土地や家屋の所有者に適正に管理をしていただくよう、通知を送付したり、直接話をして剪定のお願いをしている。

　空家の所有者が遠方に居住されている場合は、シルバー人材センターや町内の造園業者を紹介している。今後も、町道や交通安全施設の適正管理並びに快適な住環境の確保に努めてまいりたい。

質問2　街路燈について

問　街路燈といってもネオンですが、昭和45年から47年ごろ、笠が1灯式のオレンジの街路燈、その後昭和62年に笠が2灯式の青い街路燈を150本設置して、その後平成16年に50本建て替えました。残り100本現存するか分かりませんが、ポールが倒れたりしたら大変危険です。町としての対応について。

答　神保原駅北口に商業施設が開業するのに合わせ、町商業の活性化と防犯の目的で150基の街路燈が商業施設周辺に整備されました。また、平成16年には、昭和62年に整備した街路燈が老朽化し撤去する事業者も目立ち始めたことから、町内事業者の活性化を目的に50基の街路燈が新たに整備されました。

　町内には、それ以前、昭和44年から47年に商工会員が設置した街路燈もあるようで、設置から50年近く経過し、老朽化により支柱が腐食しているものも見受けられる。その当時に設置された街路燈につきましては、町の補助金を活用しているため、設置者に所有権があることから、維持管理については、商工会から設置者にお願いしたい。

神保原駅北口の街路燈

質問3　土地改良区の未収金について

問　土地改良区の未収金についてですが、平成30年3月31日現在において、多額の未集金が発生しております。未収金が9842591円、年々増え続けております。平成29年5月31日には9614291円でした。また、世代が代わって加入したときに、土地や畑を所有しているのも知らない人が増えたときに、賦課金を徴収しようとしても、徴収出来ないし、未収金が増加するのでは。

答　土地改良区の未収金については、土地改良区の理事を中心に、事務職員と協力して未納者の自宅へ戸別訪問を行い、直接未収金支払いのお願いをしている。

　未収金の納付のことで、なかなか納付されない場合には、分割納付の方法等を考慮しながら、未収金を納付していただくよう交渉してまいりたい。

総務経済常任委員会――視察研修

副委員長　黛　浩之

11月7日　視察先：茨城県常総市

○鬼怒川堤防越水現場（若宮戸地区）

平成27年９月10日から11日にかけて栃木県日光市で最大24時間降水量551ｍｍを記録した大雨の影響で、常総市内を流れる鬼怒川が増水し、10日６時30分若宮戸で越水、同日12時50分には三坂町で堤防が決壊し、約43ｋ㎡（市の約1/3）が浸水しました。

今回は若宮戸地区の視察でしたが、近隣の住宅の漆喰の壁には、浸水したラインがくっきりと残っていて、水害の怖さを実感しました。

今では堤防工事も進み、のり面には青々とした芝が張られ、当時の事を忘れがちですが、災害はいつどこで発生するか分かりません。上里町では西に神流川、北には烏川と大きな１級河川が流れています。あってはならないことですが、万が一のときには３年前のこの災害を教訓に、住民の避難等に活かしたいと思います。

○常総市役所「鬼怒川緊急対策プロジェクト」

鬼怒川下流域において「水防災意識社会」の再構築を目指し、国、県、常総市など７市町を主体とし、ハードとソフトが一体となった緊急対策プロジェクトを実施しています。

ハード面では、堤防整備（かさ上げ、拡幅）や河道掘削、市役所の非常用電源設備の浸水対策として高さ２ｍのコンクリート壁を周囲に設置しました。

一方、ソフト面では市町、水防団、地域住民等が参加する危険箇所の共同点検の実施やハザードマップ及び家屋倒壊危険区域の公表と周知、市内の小中学校一斉防災訓練が実施されています。また、災害情報システムの構築では、スマートフォンでの防災情報アプリの整備、防災行政無線の戸別受信機の機能拡張を実施しました。

スマートフォンが普及している現在、ぜひ防災にも役立ててもらえることを願います。

平成30年度町村議会議員研修会

髙橋　勝利

平成30年10月17日　吉見町「フレサよしみ」

議会改革をめぐる最近の動向と課題
～住民自治の根幹としての議会を作動させる～

講師：山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授
江藤俊昭

吉見町で開催された研修会に、上里町議会議員14名中13名が参加いたしました。

今回の研修では「議会改革をめぐる最近の動向と課題」について江藤先生の講演を聴きました。講演では、地方自治の重要性、首長主導型と二元的代表制、住民自治の根幹としての議会、国政と異なる地方政治についてが主な内容でありました。

この中で、（住民自治の根幹としての）議会は首長と常に緊張関係を保ちながら、条例、予算、決算、主要な計画、契約や財産の取得・処分の執行権に対する議決権など膨大な権限が与えられていることを認識し、その自覚を持つことが議会改革の起点であると説明されました。私たちは、この講演を聴き、改めて議決責任の確認、説明責任、議員間討議の必要性を学びました。

上里町議会でも９月定例会において議会活性化を推進する議会活性化特別委員会を立ち上げており、本日の講演を聴く限り、議会改革の方向性は同じでありました。上里町議会としても本日の講演を糧として、町民の皆様のために、他市町村の取り組みなどを参考にしながら議会改革を一歩でも先に進められるよう研鑽を積んでまいりたいと思います。

追跡！一般質問

議員の質問・提言に答える町執行部、
その答弁がその後どうなったのか・・・
どう町政に反映させているのか・・・対応を追跡します

質 子育て支援モバイルサービスの導入を！

子育て世代が安心して育児に専念できる暮らしを実現するため、保護者の目線に立ったサービスの導入を！

平成29年12月定例会（平成30年3月号掲載）

答 準備が整い次第、平成30年度から導入したい

埼玉県では、県を中心に子育て支援アプリの運用を平成30年3月の開始に向け構築している。埼玉県と協議し、導入に向けて検討していきたい。

どうなった？

子育て支援アプリ「はぐたまかみさと」が始まりました！

平成30年3月より導入。このアプリでは、乳幼児期の子育てをしている方への子育て支援情報の提供や予防接種のスケジュールの自己管理をすることができます。

登録方法

埼玉県の「はぐたま」ホームページもしくは、下記QRコードよりアクセスしてください。

「決算審査・決算認定」ってなに？

決算とは、町の予算（歳入と歳出）の総実績を明らかにすることをいいます。

決算認定とは、議会が決算内容について審査をして、予算が適正に使われたのかを確認し、認定することです。

決算審査はすでに使われたお金の審査ということで、支出されたものを取り消すことはできませんが、不適正なものや非効率なものがあれば、質疑をとおして明らかにすることができ、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

平成29年度「決算認定」までの流れ

平成30年3月31日　会計年度終了

↓ 収入・支出の精算をするための期間

平成30年5月31日　出納整理期間終了

↓
- 会計管理者が決算書を町長へ提出
- 監査委員が決算を審査し、町長へ意見書を提出

平成30年9月4日～25日　9月定例会

町長　監査委員の意見を付けて議会に決算の認定を求める

議会　決算の審査を行い、適正であることを確認し認定する

かみさと議会だより 81
2018年(平成30年)12月1日発行
発行／上里町議会　編集／議会だより編集委員会
住所／〒369-0392　埼玉県児玉郡上里町大字七本木55-18番地
TEL 0495-35-1216(直)　FAX 33-2429

議会日誌

9月

1日　関東大震災朝鮮人犠牲者慰霊祭
4日　定例会初日(開会、町長の行政報告、一般質問)
5日　一般質問、議会運営委員会
6日　全員協議会、議案審議(条例改正等)
10日　議案審議(決算総括説明、意見書報告、委員会付託)
11日　常任委員会(29年度決算審査)～20日
16日　上里中学校体育祭
18日　全員協議会
19日　上里北中学校体育大会
20日　全員協議会
24日　各小学校運動会
25日　全員協議会、特別委員会
定例会最終日(常任委員長決算審査報告・採決)
26日　児玉郡市広域市町村圏組合議会

10月

7日　町民体育祭
14日　公民館・児童館まつり(賀美・長幡・七本木)
17日　特別委員会、議会だより編集委員会
埼玉県町村議会議員研修会
21日　公民館・児童館まつり(上里東・神保原)

11月

3日　表彰式典
4日　ふれあいまつり
7日　総務経済常任委員会視察研修
9日　上里町議会懇話会
12日　郡議会議長会視察研修(～13日)
14日　文教厚生常任委員会視察研修
15日　議会だより編集委員会
18日　消防団特別点検
21日　議会運営委員会、特別委員会

編集後記

9月定例議会は4日から25日までの長スパンでの会期日程の中で、一般質問が8名、議案審議、29年度決算審査が行われ、中でも特に決算審査に時間を要しました。決算審査は総務経済常任委員会、文教厚生常任委員会の2つの委員会に分かれ、担当するそれぞれの課を町民の代表として審査いたしました。

今年の夏は異常気象とも言える暑さで、残暑も厳しい中での定例議会でした。しかし、我々議員は皆様の代表として、住みよい町づくりのために邁進していく所存ですので、これからもご支援・ご協力をお願いいたします。

齊藤　崇

議会だより編集委員会
●委員長　猪岡　壽
●副委員長　髙橋　勝利
●委員　髙橋　仁
沓澤　幸子
齊藤　崇
黛　浩之

12月定例会を傍聴しませんか!

定例会は、12月7日(金)に開会予定です。
なお、一般質問は7日(金)、10日(月)の2日間を予定しています。

12月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
7日(金)	髙橋　茂雄	①環境問題について
		②生活支援について
	沓澤　幸子	①ごみゼロに向けて
		②予算の執行見通しと課題について
		③町長表明の具体化について
	仲井　静子	①敬老長寿祝金制度の見直しについて
		②働き方改革ペーパーレス化について
	猪岡　壽	①スマートインター周辺の開発について
		②上里町の経常収支比率について
10日(月)	黛　浩之	①アスベストに関する町の取り組みについて
		②こむぎっち号の利用状況について
	納谷　克俊	①上里ゴルフ場について
		②森林環境税・森林環境譲与税について
	髙橋　勝利	①上里町の健康事業の取り組みについて
		②文部科学省が総合学習の時間の外部委託授業を認める方針を固めたことについて
	植原　育雄	①交番の設置について
		②交通事故の減少を目指して
		③電気自動車の充電スタンド(急速充電設備)について
		④道徳教育について
		⑤平成31年度予算編成について
	飯塚　賢治	①身体障害者の車につけるマークについて
		②ブロック塀の安全性確保について
		③建設業に関する施工時期の平準化について
		④風疹対策について
		⑤観光・交流のまちづくりの推進について

議会を傍聴!

上里町議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。
議会開催日に役場4階傍聴受付窓口までお越しください。

議会を動画で!

本会議の一般質問の様子をインターネットで録画配信しています。

また、本会議開催中は、役場1階町民ホールのテレビで生中継しています。

議会を読む!

「上里町議会だより」は3月、6月、9月、12月の年4回発行しています。